

USTRREAM

世界を変える

ネット生中継



川井拓也

著者略歴

川井拓也 (かわい・たくや)

株式会社ヒマナイン代表/デジタルハリウッド大学院教授。CM制作会社でCM、CG、映画、テレビ、ウェブなどの制作に携り2004年株式会社ヒマナインを設立して独立。広告、教育、アートの3分野をフィールドとしており、TIAAグランプリの「ミクシィ年賀状」など、SNSコミュニティ運営からTwitterとUstreamを使った企業のキャンペーンまで手掛ける。デジハリ大学院ではアンビエントメディアラボを設立。iPadアプリからロボットまで次世代メディアを研究中。ネットワーク型インターバルカメラ「ライフスライス」で文化庁メディア芸術祭特別賞、両面デジカメ「Howdy?」で審査員推薦作品に入賞。仕事のUstreamでは「朝までダダ漏れ」「トヨタパッソハナ女子大学」「アースデイ WorldShiftフォーラム」などを担当。趣味のUstreamではソーシャルカレー、ソーシャル引っ越しなどのプロセスキャスティングで話題となる。本書のポメラによる執筆プロセスも#UstBookのハッシュタグですべて中継された。Twitterでは気付きの犬印 (@himanainu_kawai) で1万人のフォロワーに日々ライフログを発信中である。
メール：kawai@himanainu.jp

ソフトバンク新書 135

ユーストリーム せかい か なまちゅうけい USTREAM 世界を変えるネット生中継

2010年5月25日 初版第1刷発行

2010年6月 4日 初版第2刷発行

著者：^{かわい たくや}川井拓也

発行者：新田光敏

発行所：ソフトバンク クリエイティブ株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂 4-13-13

電話：03-5549-1201 (営業部)

装丁：ブックウォール

組版：風工舎

編集協力：米田智彦

印刷・製本：図書印刷株式会社

落丁本、乱丁本は小社営業部にてお取り替えいたします。定価はカバーに記載されております。
本書の内容に関するご質問等は、小社学芸書籍編集部まで書面にてご連絡いただきますようお願いいたします。

© Takuya Kawai 2010 Printed in Japan

ISBN 978-4-7973-6016-5

U
S
T
R
E
A
M

世界を変えるネット

生中継



用井拓也

ソフトバンク新書

135

はじめに

二〇一〇年二月二日、ソフトバンクは、インターネットを利用したライブ動画配信サービスを提供するアメリカのベンチャー企業「USTREAM（ユーストリーム）」に対し、約二〇〇〇万ドル（約一八億円）を出資したと発表しました。さらに二〇一一年七月までに株式を追加取得できるオプションを行使した場合、出資比率は三〇％強となり、ソフトバンクが筆頭株主になる可能性があることが明らかにされました。ソフトバンクは、この日行われた決算報告と共に、この会見自体をユーストリームを使つてネット生中継し、孫正義社長自ら、直接視聴者に向かって語りかけるという、企業の決算報告としては異例とも言える、画期的な方法を試みました。

私は事前に、日本企業がユーストリームに出資をするという情報はつかんでいましたが、どの会社かまでは特定できていませんでした。ユーストリームにはツイッターを連動させる「ソーシャルストリーム」という機能があり、ソフトバンクの決算報告

中継の開始と同時に、何百人という人々がツイッターを使ってその感想をつぶやき始めました。私はユーーストリームの中継を見ながら、ツイッターのタイムライン（つぶやきの一覧。のちほど説明します）も同時にチェックしていました。

すると、ソフトバンクが出資し、ユーーストリーの筆頭株主になるという情報がタイムラインに次々と流れ、衝撃が走りました。「こんな誰もが知る企業がユーーストリームに出資したら大変なことになるぞ!」。そう思ったのです。その興奮のまま、私は孫社長のツイッターアカウント「@masason」宛にこうつぶやきました。

「ユーーストリームへの出資凄いニュースですね!表参道店に誰でも使えるユーーストリームスタジオ作って下さい!」

孫社長には、当時すでに一〇万人に近いフォロワーがいましたし、決算報告中継のツイッターのタイムラインは滝のような速さで流れていましたから、当然返事なんて返ってくるわけがないと思っていました。しかしその数分後。

「了解。作りましょう!!」

という孫社長自身のつぶやきが返ってきたのです!!

ネットの世界では驚いたときに「コーヒー吹いた!」という表現を使うことがありますが、まさにそんな状態です。このやりとりは瞬く間にツイッター上でリツイート（ツイッターの発言が別の人によって再投稿される仕組み）され、ものすごい勢いで伝播していきました。同時に私のフォロワーもその日だけで三〇〇人以上増えたのです。

それから数ヶ月、ユーストリームには次々と新しい中継を始める人が現れ、企業も発表会やイベ



著者の呼びかけに返信した孫社長のつぶやき

ントの中継を行うようになりました。いつでもどこでもアクセスできる情報源として発達したネットが、二〇一〇年の今、リアルタイムを共有して楽しむ流れにシフトしつつあります。

これはその流れを加速させるネット生中継サイト、ユーストリームの登場が世界をどう変えていくのかについて書いた日本ではじめての本です。ユーストリームとはどんなサービスで、今までの動画共有サイトと何が違うのか、そこでどんな番組が見られるのか？ 自分の映像を発信するためにはどうすればいいのか、基本的なことは一通り理解していただけたと思います。そして、この革命的な新しいメディアが、私たちのライフスタイルあるいはビジネスにどのような影響を与えていくのか、ユーストリームが切り拓く未来像を読者のみなさんと共有していきたいと思っています。

私、ヒマナイヌの川井は大阪芸術大学の映像学科映画コースを卒業後、テレビコマース制作プロダクションに入社し、一〇年に渡ってコマース、コンピュタグラフィック、映画、テレビ番組、ウェブの制作に携わりました。二〇〇〇年には

世界一周する客船の中にパソコンや映像編集機器を積み込み「洋上放送局」を設営、インマルサットから直接データを送出し、そのプロセスをテレビ、ウェブ、メルマガ、雑誌などの媒体を通じて配信しました。三〇歳で独立したあとは、渋谷のQフロントやマクドナルドの店内ビジョンの番組を制作したり、各種の企業ウェブサイトプロデュースを行っています。五分ごとに自動で撮影するネックレス型インターバルカメラ「ライフスライスプロジェクト」を立ち上げ人間の体験を可視化した際には、そのコンセプトが評価され文化庁メディア芸術祭特別賞を受賞しました。またソーシャルメディアにいち早く注目し二〇〇五年に『ソーシャルネットワークワーキングサービス 縁の手帖』（翔泳社）、二〇〇六年には『SNSビジネスガイド』（インプレス）、二〇〇九年には『Twitterマーケティング』（インプレス）を共著で執筆しました。

このように、映像業界出身でソーシャルメディアに詳しくライフログにも思い入れがある私は、「ユーストリームについての本はなんとしても自分が最初に書かなければ！」と思ったのです。そんな私が初の単著として、筆圧高めに書き上げた本書に、どうぞしばらくの間おつきあいください。

二十一世紀の世界のメディアを大きく変える可能性を持ったユーストリーム。このツールによりもたらされた新しい時代の大きな変化を積極的に受け入れ、共に楽しんでいこうではありませんか！

【著者はユーストリームで日々情報を発信しています】

http://www.ustream.tv/user/himanainu_kawai

目次

はじめに 3

第一章 ユーストリームとは何か？ 15

ユーストリームとはネット生中継サイトのこと	16
ユーストリームのライブ配信に人が集まる仕組み	18
ユーストリームではどんな中継が行われているのか？	22
趣味のユーストリーム、仕事のユーストリーム	27
自分の子供のホームビデオとしての中継	28
ユーストリームオークション	31
ソーシャル鍋シリーズ	35
ソーシャル引越越し	39
ラジオ・ラ・バー	42
ソーシャル徹夜	44
仕事のユーストリーム	46

第二章 ユーストリームを視聴する 51

- おもしろい中継に出会う方法 52
- パソコンで視聴する 53
- iPhoneやAndroid搭載スマートフォンで視聴する 55
- 番組をフォローする 56
- ダッシュボードでザッピングする 57
- 中継している人にメッセージを残す 58
- ユーストリームのトップからいろいろな中継を見る 60
- ジャンルごとの中継を探してみる 61
- ユーストリームのおすすめ番組 62
 - Spacevidcast 62
 - takashipom 64
 - saschataro 64
 - digitalstage_jp 65
 - MinoruMukaiya 66
 - kitchenlivejp 67
 - knkanda 67

第三章

ユーストリームでライブ配信する

69

ユーストリームのアカウントを取得する 70

パソコンとウェブカメラを用意する 73

パソコンに内蔵されているウェブカメラを使う 74

パソコンにウェブカメラを接続して使う 75

パソコンにビデオカメラを接続して使う 76

カメラはつながずに音声だけを使う 78

新しいことに挑戦することを楽しむ気持ち 78

ブロードキャスターで中継する 80

ブロードキャスターの使い方 82

リアルタイムに視聴者数がわかる 84

映像だけ、音声だけを配信する 85

音量を調整する 86

ビデオソースとオーディオソースの切り替え 86

配信と録画 87

他のユーザーの中継を取り込む 89

プロデューサーで中継する 91

番組設定 93

テーマ 95

Off-air 設定 96

詳細設定 (ソーシャルストリームの設定) 97

詳細設定 (パスワードの設定) 101

詳細設定 (コホストの設定) 102

イベント 103

統計 105

iPhone で中継する 106

第四章

ストリームメディア論

111

二つのストリーム 112

パラダイムシフト 112

プロセスキャスティング 114

二十一世紀の街頭テレビ 118

情報の民主化 121

オーガニックメディアの台頭 122

編集はどこへ行く? 124

エリアフリーと世界同時性	125
ソーシャルストリームが字幕になる	127
電波から伝播へ	127

第五章 ユーストリームのキーパーソンに聞く 129

ユーストリームの日本での展開	
そしてユーストリームスタジオについて	130

インタビュ―中川具隆（TVバンク株式会社）／大黒 悠（ソフトバンクモバイル株式会社）	
ソラノートそらのちゃんに	
ダダ漏れ誕生の秘密を聞く！	148
インタビュ―そらの／Uさん（株式会社ソラノート）	

第六章 まとめ——ユーストリーム一〇のポイント 181

一、視聴者の数は中継主催者のネットワークスケールに比例する	182
二、視聴者にとっては映像より音声のクオリティーが大切	183

- 三、予測不可能性というリアリティーが視聴者を引きつける 185
- 四、誰が見ているかが話題になるまったく新しいメディア 186
- 五、番組ではなく動画付きコミュニティと考えよう 186
- 六、ソーシャルストリーム活用が進行の鍵 187
- 七、中継設定で一番大切なのはハッシュタグ 188
- 八、リアルタイム投票機能を使いこなそう 189
- 九、タイトルは中継者から視聴者への思いやり 190
- 一〇、伝えたいことがある人のためのメディア 190

おわりに 192

第一章 ユーストリームとは何か？